

海の森を救おう：みやぎのワカメが育む未来の海づくり！

プロジェクト概要

- 宮城県では、10年後の宮城県の水産業のあるべき姿として、「**環境と調和した持続的可能で活力ある水産業の確立**」を掲げ、ブルーカーボンを重点施策と位置づけました。そして、宮城県のブルーカーボン施策の司令塔として、行政、学識経験者、漁業者等を構成員に、宮城県ブルーカーボン協議会を設立し、藻場造成等、ブルーカーボンの創出に取り組んできました。
- 宮城県は東日本大震災からの復興にあたり、**ワカメの養殖生産量**が増加し、**全国一位**を誇っています。ワカメ養殖では毎年一定量のブルーカーボン創出が見込まれ、安定的な収益が望めます。その収益をもとに漁業者が藻場造成活動や、藻類の更なる増産を行うことで、藻場面積拡大とワカメ養殖の両面から地球温暖化対策へ貢献することができ、持続的な活動が見込まれます。

取組内容

藻場・養殖生産量が持続的に増大する循環

ブルーカーボンの創出

□ 漁業者のワカメ養殖



□ 漁業者による藻場造成



活動の普及・啓発

□ イベント開催で活動の認知度向上



小中学生向けの
水族館イベント



ブルーカーボン・
シンポジウム

Jブルークレジット®
取得…資金獲得

クレジット取得後の取組

□ 藻場造成活動面積や養殖生産量の増大



特徴・PRポイント

○漁業者がワカメ養殖より安定的なブルーカーボンを創出し、さらに藻場造成活動も実践

○ワカメ養殖によるクレジットの売却益を藻場面積拡大や藻類養殖増産へ活用することで、持続的に藻場造成活動が可能

○漁業者による藻類養殖・藻場造成の両面から地球温暖化対策へ貢献



養殖が創出する安定したJブルークレジット®を原資に持続的なCO₂吸収サイクルを実現